

【取組内容④】「諸会議のペーパーレス化からクラウド化」

取組内容

本校では、昨年度まで様々な会議資料をPDFで共有し、ペーパーレス会議を行っていたが、いくつかの会議資料をクラウド化（GoogleドキュメントやGoogleスライドに変更）することで、業務改善を図った。

工夫点

今まで会議で変更点があった場合には、担当が自分のファイルを打ち直し、再度PDFにして共有するという流れがあり、担当の負担があった。クラウド化に伴って、会議中の変更が容易にできるようになった。また、生徒に配布する資料等のリンクを貼り付けることができ、画面上ですぐに複数の資料を確認することができるようになった。

2 学年会 9月12日（火）

1. 情報共有 担当: 各自（書き方:「名前 日付 内容」の順に書いて下さい）

2. 学活について 担当: 彩

3. 道徳について 担当: 隆太郎

日付	1組		2組		教材
	T1	T2	T1	T2	
9月14日（木）					

図1 学年会資料

4. 総合について 担当: 隆太郎

- ・実施要項 (今週の企画委員会で提案します。内容を確認して下さい。)
- ・スケジュール (職場体験前の活動を今一度見直して下さい。)
- ・受け入れ先事業所 (職場体験時の各担当を決めましょう。)
- ・履歴書 (一応作ってみました。書いた方が良い項目があれば教えて下さい。)

図2 学年会資料



生徒指導に関する会議のようす

白紙共有し、各担当が会議までにそれぞれのタイミングで情報を打ち込んでいる。

生徒に配布する資料のリンクを貼り付けることで会議で修正後にすぐに生徒と共有することができる。

各担当が事前に打ち込んだ内容を報告しながら、記録係が追加の情報を書き込んでいる。

取組後の変容

会議資料をクラウド化したことで、各担当が好きなタイミングでいつでもどこでも書き込むことができるようになった。また、会議中の議事録を記録係が取ることで、他の職員は画面上で議事録を見ながら細かいところまで議論することに集中できる。より効率よく会議が進むことで、会議を時間内で終わらせることができる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮古島市立鏡原中学校（沖縄県）

【取組内容④】「校内研修でのクラウド環境の活用」

取組内容

校内研修の際に、各自が大切だと感じたキーワードをジャムボード(図1)の付箋機能を利用し、メモを取ることにした。また、研修のまとめとしてスライド(図2)にジャムボードをスクリーンショットしたものを貼り付け、学んだことを文章で書くという形式を実施した。

工夫点

StuDX Style等で紹介されている先進校の授業スタイルを校内研修に取り入れた。受け身が多かった研修が積極的に学ぶ研修へと改善された。また、ファイルの白紙共有・協働編集・他者参照を教師自身が体験することで、それぞれの授業への導入につながる取組であった。また、StuDX Styleにある各教科の実践事例をそれぞれの教科で学び、学んだことを他教科と共有する場面があり、個別最適な学びと協働的な学びがみられた。



図1 キーワードを書いたジャムボード

ひとつのジャムボードを全員で共有し、いつでも他者参照ができる。

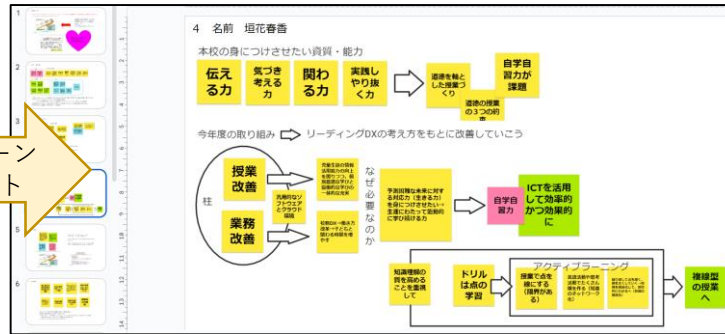


図2 研修のまとめを書いたスライド

今までの代表者数名の意見だけではなく、全員の学びを知ることができる。自分の学びを深めることにつながった。



校内研修のようす

職員同士の学び合いが生まれていた。

取組後の変容

校内研修を重ねていくごとに、先生方のタブレットを活用した授業実践意欲が高まった。また、汎用ソフトの操作ができるようになると、苦手意識があった先生が「授業で使ってみよう」と得意な先生に聞くことが増えてきた。教科を超えた先生方同士での学び合いが生まれた。